

現在、29カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡高校定時制の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制の同窓会が中心となり 1996年5月にスタートしました。現在はNPO市岡国際教育協会が運営し、市岡高校同窓会に後援して頂いております。  
URL: <http://ichioka-nihongo.org/>

発行人/市岡国際教育協会理事長 吉田徳夫 /編集/広報係  
大阪市港区市岡元町 2-12-12 TEL/FAX: 06-6582-0348  
市岡日本語教室は「安田謙字寄金」の助成を得ています。

特定非営利活動法人

市岡国際教育協会 市岡日本語教室

- 場所 大阪府立市岡高校同窓会館
  - 日時 毎週金曜日午後7時から8時半
  - ボランティア、学習者、募集中
  - 見学随時、予約不要
- e-mail: [Ichioka\\_nihongo@hotmail.com](mailto:Ichioka_nihongo@hotmail.com)

## 秋の遠足 宇治へ



# 10円玉はでかかった!

### 市岡日本語教室 ハイキング

《宇治紀行》

五味久美

#### <出発のとき>

十六日の早朝、激しい雨音で目覚めた私は・・・ああ残念や・・・ところが、集合時刻が近づくにつれ雨雲は去りゆきて、さまざまな憂慮など一転する、素晴らしい“宇治ハイキング”となったのです。ほんとうに良かったです!!  
留学生、外国からの学習者の方々を合わせて十数名あり、参加者は総勢四十一名です。

#### <宇治の地に降り立ちて>

『宇治は華やかさはないが、心の深いところを満たしてくれる土地である。』が、私の中にずっと在りました。『源氏物語千年紀』といわれる今年、千年の時の流れを超えて往時を偲ばせる宇治川周辺を歩きたいと思っておりました。まずは“さわらびの道”より世界遺産の宇治上神社へ。日本最古の神社建築だけあって荘厳なる雰囲気が漂っていました。さらに大鳥居を潜って、七五三の厄除けの茅の輪が置かれていた宇治神社を参拝しました。そして宇治川沿いに、凛と立つ一本の大イチョウの傍らを通りぬけ、紅葉の名所としてしられる琴坂とよばれる参道を登り、質実剛健なる趣の禅寺、興聖寺を参拝しました。・・・宇治川の中洲である橘島にかけられた朝霧橋を渡りながら、私は、外国の学習者の方々と共に、古代日本の文化遺産を共有することの喜びを実感いたしました。

うれしいお弁当タイムです!!高瀬舟の行き交う宇治川を眺めながら、それこそ、みんなが互いに寄り添って食べるお弁当は、最高でした。頬を撫でる川風が、何とも気持ちいい、ひと時となりました。・・・再び、新たなファイトで行動開始! 平等院は全て、自由行動でしたので、それぞれに新たな発見があったことでしょう。 いよいよ最後は、宇治茶の歴史が分かるお茶ならではの資料館“上林記念館”の見学でした。ルソンなどの古色の茶壺、製茶道具等、貴重な展示でした。

予定どおり、十六時に京阪「宇治駅」に、無事、集合、解散となりました。



I liked the trip. It was interesting for me. It was fun to learn about the temple, see and read about all the artifacts. Temple had the most impression on me. I think it's funny that the temple is on the ten yen coin. I was thinking that the temple is really really small.

Kenny Fenley

ぼくはこの遠足が気に入りました。とても面白かったです。お寺について学習したり、いろいろな工芸品を見たり、それについて読んだりして、楽しかったです。ぼくにとってはお寺が一番印象に残りました。お寺が10円玉の絵柄になっていておかしいと思いました。ぼくはお寺は本当に本当に小さいものだと思っていたのです。

ケニー・フェンリ (市岡東中学校2年)

願います。  
暖かい交流が  
できることを  
暖かい交流が  
できることを  
暖かい交流が  
できることを  
暖かい交流が  
できることを



我が市岡日本語教室は、本場スリランカ料理での出店です。朝からあいにくの雨模様にも関わらず、場内はまずまずの人出。きつね色に揚げたサモサや素朴な甘さのゴマ団子が順調に売れていきます。そんな中、教室関係者が時折注文してくださる以外は動きの鈍かったチキンカレーも、お昼時になるとぐんぐん売行きを伸ばし、気がつけば特大鍋が空っぽ間近。大人気のサモサと共に慌ててラッキーさんに追加調理をお願いし、レストランのランチタイムで忙しい合間を縫って届けていただきました。  
午後のヒットメニューは何と言ってもミルクティです。二つのカップを使い、上下交互に紅茶を入れ替えて泡立たせるサンディアさんのパフォーマンスはアピール効果抜群。出来上がった一杯は生姜の風味が優しく効いていて、とてもまろやかな味。冷たい雨の中、少し冷えた体を芯からほかほか暖めてくれました。これが作れるのは私だけだから。」と一日中休憩無しで頑張ったサンディアさんの、まさに真心のこもった味だったのですね。  
傘を差して会場に来てくださった皆様、ありがとうございました。来年は晴天の下、またこのような楽しく暖かい交流ができることを願います。

盛況!  
スリランカ屋台

阿佐 直美



# 国際交流フェスタ